

2022年9月16日  
株式会社 Finatext ホールディングス  
株式会社スマートプラス

スマートプラス、米株運用に特化した投資一任サービス  
「米国ETFラップ」を9月17日(土)から提供開始  
～オンライン完結！個人向け米国ETFでの運用に特化したラップ～

次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループの株式会社スマートプラス(本社:東京都千代田区、代表取締役:小林 紀子、以下「当社」)は、米株運用に特化した投資一任サービス「米国ETFラップ」の提供を開始します。

「米国ETFラップ」は、当社が楽天証券株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:楠 雄治、以下「楽天証券」)と共同で開発したものです。株式会社 GCI アセット・マネジメント(本社:東京都千代田区、代表取締役 CEO:山内 英貴、以下「GCI アセット・マネジメント」)が投資助言を、当社が証券口座管理および投資一任運用を行います。明日 2022年9月17日(土)から、楽天証券のホームページにてお申し込みいただけます。



#### ■提供背景

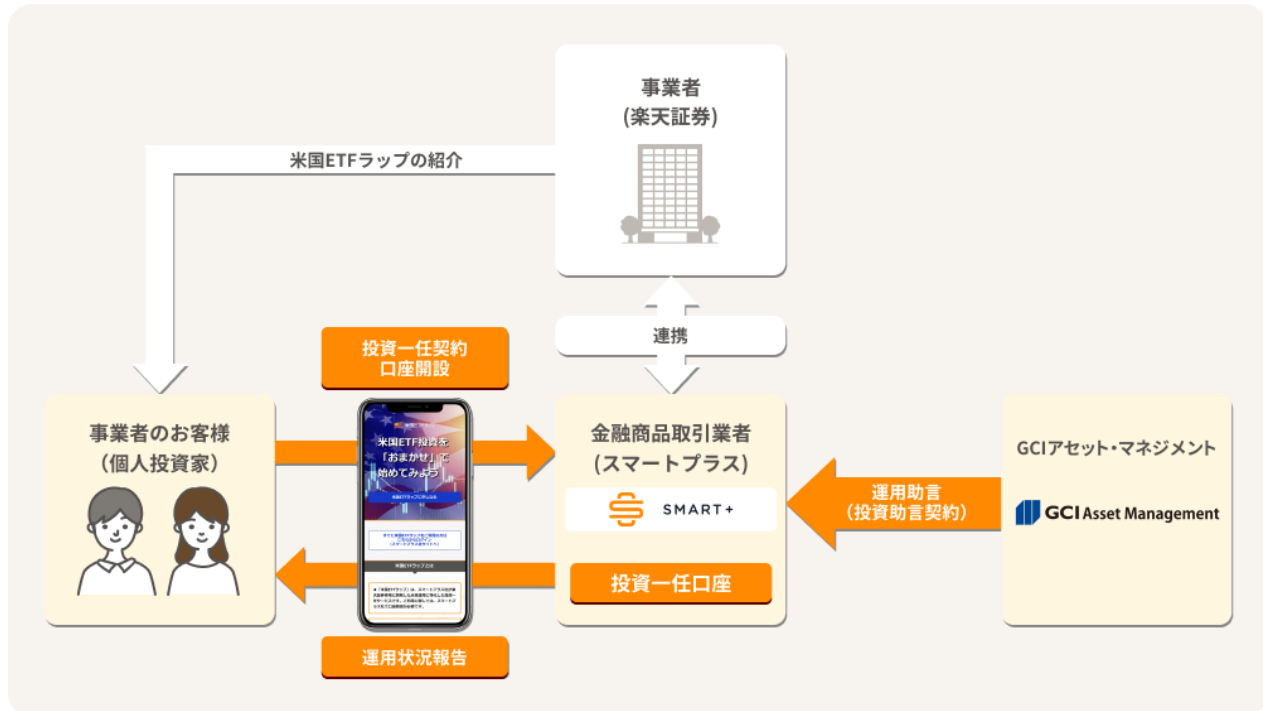
昨今、日本株だけでなく米国株にも興味を持つ個人投資家が増えています。また、6,000超ある個別銘柄に対して手軽に分散投資ができる米国ETFにも注目が集まっています。しかし、米国株やETFの投資経験がない方の中には、銘柄選択や売買タイミング、投資額をご自身で判断することに不安を感じる方も多くいらっしゃいます。そこで当社は、投資初心者の方でも資産運用のプロの助言を受けながら米国ETFに投資できる投資一任サービスを提供したいと考え、楽天証券と共同で「米国ETFラップ」を開発しました。

「米国ETFラップ」は、当社の証券ビジネスプラットフォーム「BaaS(Brokerage as a Service、バース)」上に構築されたオリジナルファンドラップ導入ソリューション「Digital Wealth Manager(デジタル・ウェルス・マネージャー)」を活用することで、商品企画から約4ヶ月という短期間での提供開始を実現しています。

■特長

- ・資産運用のプロに“おまかせ”で、米国株式に特化した ETF 投資が可能。
- ・米国株投資によるリターンを享受しながら、市場の急落時にはキャッシュポジション等を活用し、ドローダウンの抑制を目指すスイッチング戦略を採用。
- ・オンライン入金手数料無料、運用報酬は年率 0.88%(税込)と、サービス手数料がリーズナブル。

■提供スキーム



■サービス概要

サービス名称	米国 ETF ラップ
運用方針	投資対象は米国上場 ETF とし、NASDAQ100、S&P500 等に連動する対象銘柄に投資します。基本的には、米国株式市場の長期的な成長を享受しつつ、市場混乱時には独自の数量モデルを活用し、キャッシュポジション等も活用することで安定したリスク・リターンの獲得を目指します。各資産への投資比率に関しては、運用環境の大きな変化などにより、必要と判断した場合にはジャッジメンタルな判断も行います。
主要投資対象	QQQ、IVV、VYM
運用コース	3コース ①NASDAQ100 コース(対象 ETF: QQQ) 米国株式への主な投資対象を NASDAQ100 指数連動の ETF とし、市場混乱時にはキャッシュポジション等を活用することで、マイナスリターン抑制を図り、長期的に NASDAQ100 指数を上回るリスク・リターンの獲得を目指します。 ②S&P500 コース(対象 ETF: IVV) 米国株式への主な投資対象を S&P500 指数連動の ETF とし、市場混乱時にはキャッシュ

	ポジション等を活用することで、マイナスリターン抑制を図り、長期的に S&P500 指数を上回るリスク・リターンの獲得を目指します。 ③米国高配当株式コース(対象 ETF:VYM) 米国株式への主な投資対象を FTSE ハイディビデンド・イールド指数連動の ETF とし、市場混乱時にはキャッシュポジション等を活用することで、マイナスリターン抑制を図り、長期的に FTSE ハイディビデンド・イールド指数を上回るリスク・リターンの獲得を目指します。
お申込単位	100,000 円以上 10,000 円単位(円貨入金のみ)
運用開始日	入金日の翌営業日 ※入金日の NY 市場終値で US ドルに転換し、翌営業日に注文を執行します。
評価額	US ドル建で時価表示します。
運用報酬	年率 0.88%(税込)(実質的な負担 年率 0.91%~1.08%程度(税込)) ※翌月 10 日(休業日の場合は翌営業日)に前月分を徴収します。
申込手数料	なし
為替手数料	入出金時に片道 1 ドルにつき 24 銭をいただきます。
運用助言	株式会社 GCI アセット・マネジメント
サービス提供者	株式会社スマートプラス

■BaaS(Brokerage as a Service) <https://smartplus-sec.com/baas/>

BaaS(Brokerage as a Service、バース)は、早期かつ容易な証券事業への参入を可能にする証券ビジネスプラットフォームです。有価証券等の売買執行機能ならびに堅牢な証券インフラと証券業務のオペレーションをパッケージ化しサービスとして提供します。証券インフラは SaaS 化されているため、お客様の属性に合わせた柔軟なフロント開発が、短期間かつ圧倒的な低コストで実現可能です。

■Digital Wealth Manager <https://smartplus-sec.com/digital-wealth-manager/>

Digital Wealth Manager(デジタル・ウェルス・マネージャー)は、投資初心者から経験者まで投資経験を選ばず、資産運用の助言、運用、リバランスまで「すべてをお任せできるオリジナルファンドラップ」を自社ブランドで展開できるパッケージソリューションです。資産運用サービスを通してお客様との長期的な高エンゲージメントを築き、LTV(顧客生涯価値)の向上に貢献します。

■留意事項

- ・「米国 ETF ラップ」は、楽天証券のお客様専用で、当社と楽天証券が共同開発した米国上場 ETF での資産運用に特化した投資一任サービスです。
- ・本サービスは、機関投資家向けのヘッジファンド運用で定評のある GCI アセット・マネジメントが投資助言を行い、当社が投資一任運用を行います。
- ・本サービスのお申し込みには楽天証券および当社両社の口座開設が必要です。

以上

## 【Finatext グループと株式会社スマートプラスについて】

Finatext グループは、「金融を“サービス”として再発明する」をミッションに掲げ、次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するフィンテック企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ナウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。



会社名 : 株式会社 Finatext ホールディングス  
 代表者 : 代表取締役 CEO 林 良太  
 証券コード : 東証グロース市場 4419  
 設立 : 2013 年 12 月  
 所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号  
 住友不動産九段ビル 9 階  
 公式サイト : <https://hd.finatext.com/>

## ■株式会社スマートプラス

株式会社スマートプラスは、証券ビジネスプラットフォーム「BaaS(バース): Brokerage as a Service」を軸に、事業者による自社顧客向け証券サービスの提供を支援するフィンテック企業です。次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループにおいて、証券領域における金融インフラストラクチャ事業を担っています。クレジットカードで個別株が買える日本初のサービス「セゾンポケット」開発などの事業者向けサービスのほか、自社でもスマホ投資サービス「STREAM(ストリーム)」を開発・提供しています。

会社名 : 株式会社スマートプラス  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 3031 号  
 代表者 : 代表取締役 小林 紀子  
 設立 : 2017 年 3 月  
 所在地 : 東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階  
 事業内容 : 金融商品取引業  
 加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
 公式サイト : <https://smartplus-sec.com/>